

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	長井市すみれ学園		
○保護者評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	17施設	(回答数) 15施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、看護師などの多職種で連携して支援している。	それぞれの専門職が対象児童に関わることで、対象児童の成長につながっている。	よりよい支援につながるようケース検討会を開催したり、保育所等でも同じ視点で支援できるように情報提供を行いたい。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有が中心となっており、助言までに至っていない。	利用児童についてのアセスメント、目標の把握といった点において課題がある。	施設等の困りごとにも適切な助言ができるよう、事業所内で情報を共有し、対応していく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	長井市すみれ学園	公表日	令和8年2月13日
		利用児童数	37人 令和7年12月23日 回収数 28人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	16	1	0	11		間接支援を中心に行っており教具教材を現在支援に使用することはありません。必要に応じて適宜対応してまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	23	0	0	5		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	26	1	0	1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	24	0	1	3		
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	22	1	0	5		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1	0	1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	24	1	0	3		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	0	0	4		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	2	0	2		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	23	0	0	5		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	1	1		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	23	0	0	5		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	24	1	1	2		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2	1	3		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	0	1		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	0	2		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	1		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	18	0	0	5	実際が見えずわからないが、園の対応は良くなってきているため、助言と支援のおかげだと思う。	今後も必要な助言と支援が行えるよう努めてまいります。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	19	0	0	4		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	19	2	1	1	園からの内容も共有してほしい。	園からの内容も共有するよう心掛けたいと思います。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	5		月1回園だよりの発行、不定期に機関誌ほっぺの発行を行い情報発信をしております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	0	1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	16	1	0	6		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	3	0	4		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	16	4	1	2		
	28	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	1		今後も利用児童の成長につながるよう、職員一同努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				令和8年2月13日
長井市すみれ学園		利用児童数				17施設37人 令和7年12月23日 回収数 14施設
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問については、貴重な情報交換の場と捉えており、助言や具体的な対応方法等は、大変ありがたく参考にしている。状況を伝えることが中心で、助言を求めたり、質問したりすることはあまりなかった。 ・説明は的確でわかりやすい。助言はほぼ無い。 ・こどもの様子などわかりやすく説明していただけるので園での支援に繋げやすい ・10月から利用で1回しか訪問に来ていないし特別助言がなかったので何とも言えない。 ・園の環境下で出来る（取り入れられる）助言をいただけると非常にありがたい。 ・こどもの様子を詳しく教えていただけて助かる。個々に合わせての、絵カードの使用や時計の使い方など詳しく教えていただき改善が見られた。 ・施設での様子や、学校での様子を共有することができた。学校の様子を見ていただくことで、施設での指導に役立てていただきたい。 	日々の様子を先生方が細かく教えてくださり、支援員もお子さんの状況をとらえて考えることができています。ご協力ありがとうございます。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換が主になる為、知識や技術を知る機会がない。 ・支援が必要な状況をよく見て適切な対応をしてくださっているため、利用しているこどもが落ち着いて安心した生活が送れるようになっている ・毎回、様々な事について詳しく教えていただき大変助かっている。 ・施設での様子を伺い、児童が落ち着いて過ごさせていることや、他児童との問題があった際にも迅速に適切な対応をして下さった。 	利用児の成長につながるような支援方法の共有や助言ができるよう今後も努めてまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	13	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に回答してくれる。 ・毎回、様々な事について詳しく教えていただき大変助かっている。 ・訪問の際、授業後に情報共有を行った。児童の様子も的確に教えていただき、学校の指導にも活用させていただいている。 	どの職員が訪問しても適切な回答ができるよう、事業所内での共通認識を持つよう今後も努めてまいります。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援の際 他の気になる子について相談し、施設の利用に繋がった。 ・こどもの様子や状況を共有でき、園での課題や支援の方法が見つけやすくなった ・園の環境下で出来る（取り入れられる）助言をいただけると非常にありがたい。 ・実際に見に来ていただき、その上でアドバイスを頂けてるので、改善できている。 ・支援内容について、様々な情報を共有できた。学校の指導にも活用させていただいた。 ・個別支援では違いがあるためすぐに解決できない課題も存在し、今後も継続的な支援と連携のもとで段階的な取り組みを進めていく。 	今後も児童の課題や困りごとを共有し、課題解決に向け連携を図ってまいります。	

5	事業所からの支援に満足していますか。	11	3	0	<p>・「支援に満足」という観点になると「支援」を求めることが少なかったのが難しいが、「情報交換」には大変満足している。</p> <p>・園でできる具体的な支援方法やアドバイスを頂けると、より有難い。</p> <p>・満足しているが、事業所での具体的な支援方法などもっと密に共有できたらと思う</p> <p>・満足している。いつも本当にありがとうございます。</p> <p>・満足している。引き続き、施設での様子も教えていただきたい。</p>
<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>				<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>	
<p>・担任、他の職員において授業時間内に訪問者の対応をすることは困難であり、校長が窓口となり、事後に必要に応じて担任や校内の関係者と情報共有を図っている。本事業は保護者からの申請による取組であるが、その目的や必要性をより明確にしていくことが求められると考えている。</p> <p>・児童の育ち等について保育所等訪問の中で教えていただきありがたい。</p> <p>・すみれ学園での様子や支援の中身が少しでも見えるとありがたい。</p> <p>・保育所訪問時以外でもすみれ学園と児童センターの連絡ノートでのやり取りを通して、職員の相談や悩みについていただけて助かっている。</p> <p>・情報の共有や課題への取り組み方法のアドバイスや連携といったことが、訪問時に適切にやり取りができていると感じている。訪問支援は大変ありがたいと感じている。</p> <p>・通所している園児の成長がみれてよかった。的確なアドバイスを頂くことができ、とても勉強になった。</p> <p>・今年度、他の福祉施設と連絡を取り合っただき、学校の訪問に来ていただいたことが大変良かった。こどもたちの様子もしっかりと見とっていただき、施設での様子や困りごとなどを共有して進めることができた。引き続きよろしく願いたい。</p> <p>・3つの施設で訪問日を合わせていただけて助かっている。今後も様々情報交換させていただければありがたい。</p> <p>・支援員の方の助言や説明は具体的でわかりやすく、担任が安心して支援に取り組んでいる。STがかかわることで園では気付けない課題や支援の視点について補足してもらっている。園で伝えきれないことを保護者に対して補足して伝えていただけており情報共有が円滑である。</p> <p>・学校での様子を見ていただき丁寧に保護者へ伝えてくださることで保護者が安心感を持つことが出来ている。また専門的な支援について情報共有することで互いに高め合うことが出来ている。担任と十分に持つことができないが必要に応じて時間を設定していけるとよい。</p>				<p>多くの園・学校に保育所等訪問支援を快く受けていただき、また、たくさんのご意見を頂戴し、大変感謝しております。</p> <p>今後もお子さん1人1人の成長発達に向けて、先生方と利用児童の対応について一緒に考えさせていただければと思います。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		長井市すみれ学園		公表日		令和8年2月13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 運 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用希望者が増えており、訪問件数も多くなっている状況。様々な職種で連携し、訪問する支援員を固定しないことで工夫している。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は行っていないが、今後実施を検討したい。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		資質向上のため、様々な研修に職員が参加している。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			当日は時間がなく、翌日の朝会時に振り返りを行うこともあるが、職員間で共有するようにしている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行っている。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お会いできない保護者の方には、連絡ノートやお便り、電話などで利用児童の状況をお伝えしている。お会いした保護者の方には都度利用児童の状況をお伝えし、共通理解を持てるよう努めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		市で行っているペアレントプログラムの参加呼びかけや月1回のすみれカフェ等で研修を実施したり相談や情報共有している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時契約の際に必ず説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		説明を行い、支援を行うようにしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		面談等行い必要な支援を行っている。相談等があればその都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会はないが、すみれカフェを開催しており、保護者同士の交流の場にもなっている。	すみれカフェに参加できていない保護者の方もいるので、悩み等を相談したりする場を提供できるよう検討したい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談窓口について第三者委員の体制について等、契約時に説明を実施している。日頃から家族と話す機会を多く持つようにし、ご要望が聞かれた際にはすぐに対応するよう心掛けている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		園だより、機関誌「ほっぺ」を作成し発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先ではその都度担当者と情報交換をし、共有している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書は毎回必ず作成し、ご家族にもお渡ししている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルの策定を行うとともに決められた回数の訓練を実施している。	今後保護者の方にも安心していただけるようマニュアルの紹介等を行っていききたい。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについて積極的に報告するようにし、事業所内で共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			